

認知・行動

視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用し、ひとりひとりの認知や感覚の偏り、特性に合わせた支援を行うことで、認知機能の発達を促進します。これにより、自分に入ってくる情報や状況を把握・理解し、行動につなげられるよう支援します。認知や行動の手掛かりとして、物の形、色、音の変化、大小、数、重さなどを多く取り入れた遊びや個別学習課題、ビジョントレーニング等をプログラムに組み込んで支援します。こだわりや偏食の改善には、個々に合わせた対応や食育支援を行います。また、コミュニケーションの困難さや認知・感覚の特性から生じる行動障害の予防と、適切行動への対応の支援を行います。

言語コミュニケーション

コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身に付けるため、お子様の障害や特性、成長に応じた会話やマカトン、ジェスチャー、絵カード等を用いて、円滑な意思疎通が行えるよう支援しています。相手の考えや行動を理解し、自らの考えや行動を伝えられること、相手と同じものに注意を向け、その行動や意図を理解・推測するといった共同注意の獲得、場面に応じた適切な言動や関わり方、自信を持ってコミュニケーションができるように支援します。さらに、ひとりひとりに合った読み書きや発語を目指した個別学習、言語聴覚士による個別支援、言語表出を促進するプログラムなど、様々な支援を行っています。



健康・生活

毎日の検温やコミュニケーションを通じて、ひとりひとりの健康状態を把握します。始まるの会では、朝の挨拶や日付、天気、予定の確認を習慣として取り入れています。意思表示が困難なお子様に対しては、障害や発達の特性を考慮し、体調の変化に敏感に気づけるよう観察を行います。さらに、清潔な身の回りや楽しい食事ができるように、食育支援を行い、衣服の着脱や排泄など、基本的な生活スキルの獲得を支援します。構造化や環境整備を行い、生活の中で主体的な行動を増やせるよう支援します。

児童発達支援事業所

ハルちゃん happy smile



運動・感覚

動作の基本となる姿勢保持や身体機能の向上、動作の改善、筋力の維持・強化を目指した運動プログラムや体操、公園などでの外遊びを取り入れています。施設での生活の中では、視覚、聴覚、触覚、固有覚、前庭覚などの感覚を十分に活用し、障害の状態や発達の段階、興味関心、感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえた遊びや活動の支援を行っています。感覚に偏りがある場合には、他の感覚や機器による代行ができるよう、環境調整や補助機器を活用して支援を行っています。

人間関係・社会性

お子さんが環境や人、自分に対する信頼感を持ち、お友達との関係や集団での活動をスムーズに行えるよう支援します。感情のコントロールが難しい時や不安を感じた際には、大人にサインを出すことができ、気持ちを伝えることで安心感を得られるようサポートします。自分の感情を理解し、気持ちのコントロールや情緒の安定を目指せるよう支援します。人間関係や集団活動においては、相手の気持ちや意図を理解し、活動などへの参加手順やルールを学ぶ力を深めます。これにより、お友達との遊びや集団活動に積極的に参加し、相互理解やコミュニケーションを促進し、場面に応じた適切な行動ができるよう支援します。遊びを通じて人の動きなどを模倣し、一人遊びからお友達との役割分担やルールを守った共同遊びへと移行できるよう支援し、人間関係や社会性の成長を促します。